

令和2年度 浜松市障がい者自立支援協議会 中エリア連絡会 第2回全体会

開催日 : 令和3年3月3日(水)
開催時間 : 午前10時～
開催場所 : 和合せいれの里3号館
2階 研修室1

次 第

1 開会

2 中区社会福祉課長 あいさつ

3 議題

(1) 浜松市障がい者自立支援協議会報告(資料1-①、資料1-②)

(2) 浜松市障がい者自立支援協議会中エリア連絡会報告(資料2)

(3) 意見交換

(4) その他

4 閉会

令和 2 年度 中エリア連絡会 「地域課題検討部会」活動報告

<p>実施内容 (日時・会場)</p>	<p>① コアメンバー会議 令和 2 年 6 月 8 日(月)15:00～ 和合せいれいの里 3 号館 会議室</p> <p>② 第 1 回 事例検討 令和 2 年 7 月 6 日(月)13:30～ チャレンジ工房和合 会議室</p> <p>③ 第 2 回 事例検討 令和 2 年 10 月 8 日(木)15:00～ 和合せいれいの里 3 号館 会議室</p> <p>④ 第 3 回 事例検討 令和 3 年 1 月 29 日(金)10:00～ 和合せいれいの里 3 号館 会議室</p>
<p>具体的実施内容 (議題等)</p>	<p>① コアメンバー会議 令和 2 年度での目標、テーマ、スケジュールの検討 3 年目標として「中区の地域課題を検討していき、中区の地域性の把握と共に、支援者で出来るることについて PDCA サイクルで検討・実施を図っていく。」 テーマ 『わ』～ライフステージに沿った課題整理、課題解決のためにつなげる地域の輪～</p> <p>② 第 1 回 事例検討 事例提出:相談支援事業所くすのき 「身体障害(車椅子)の方の就労先がなく困っているケース」 身体障害(車椅子等)の方は就労意欲があっても、事業所内(設備や就労中の介助)や通勤手段、環境面での障壁が多く就労のサービスに繋がらない。今後、必要時に就労訓練事業所との現状についての検討会なども連絡会の動きとして考えていく。</p> <p>③ 第 2 回 事例検討 事例提供:ワークセンターふたば・相談支援事業所アグネス 「言葉の壁等により外国籍の方(成人も子供も)への支援の困難なケース」 言葉や文化の違いで支援に必要なコミュニケーションに困る。外国籍の方を支援する機関等の社会資源を知り繋がることで、適切な支援も可能となる。地域の中の社会資源情報をまとめることや支援機関との繋がりを包括的にみる機関が必要。 ネットワーク会議にて外国支援機関の紹介をする。</p> <p>④ 第 3 回 事例検討 事例提供:浜松市社会福祉協議会 「本人に困りがなくSOSの発信が誰からもないため支援が入らないケース」 本人に困り感がなく、地域からも孤立している場合、早期発見・早期解決は難しい。地域との関係構築がされることで公的サービスだけではなく、地域の手も借りながら支援することができる。どのように関わっていいのかわからない地域の人たちに興味を持って理解してもらい取り組みが必要。 今後、地区社協連絡会などへの障害理解の啓発活動の検討を予定している。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

令和2年度 中区エリア連絡会「人財部会」活動報告

<p>実施内容 (日時・会場)</p>	<p>【活動日程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回人財部会コアメンバー会議 令和2年6月15日(月) 13:30~15:00 和合せいれいの里 ミーティングルーム ・ 第2回人財部会コアメンバー会議 令和2年7月15日(月) 13:30~15:00 和合せいれいの里 ミーティングルーム ・ 第1回人財部会 令和2年8月25日(火) 10:00~11:30 和合せいれいの里 研修センター ・ 第2回人財部会 令和2年10月1日(木) 10:00~11:30 浜松市役所 32 会議室 ・ 第3回人財部会 令和2年11月13日(金) 10:00 から 11:30 ZOOM による会議 (ZOOM での参加が難しい構成員は浜松市役所 51 会議室) ・ 第3回人財部会コアメンバー会議 令和2年12月22日(火) 14:00~15:30 中区役所内 ・ 第4回人財部会 令和3年2月4日(金) 10:00~11:30 ZOOM による会議 (ZOOM での参加が難しい構成員は中区会議室)
<p>具体的実施内容 (議題等)</p>	<p>【部会テーマ】 「知って 学んで バリアフリーな中区(バリ中)」</p> <p>当事者の生活状況や日々の思いを知ることで、様々な障がいに対する理解を深める事、支援者同士が互いにつながり、ともに学び合うことを目的とした。</p> <p>【活動内容】 当初、当事者グループと研修グループ二つのグループに分かれ、当事者グループでは当事者との意見交換会、研修グループはサービス事業所の見学会ツアーを実施する予定であったが、コロナ禍の中での実施が難しく断念。別の案として福祉サービス事業所の紹介を行おうと考えたが、既に様々な機関のホームページ上で各機関の事業所紹介がされていたり、各サービス種別ごとでのガイドブックが発行されており、とても役立つ物であるのに周知されていず、活用しきれていない現状が部会の話し合いの中で見えてきた為、事業所紹介のまとめサイトの様なものを作りたいと考えた事、地域課題検討部会からの社会資源の必要性、既にある資源が活用されていないことから、啓発部会で社会資源の紹介をしたことを受け、一定期間での展示で終わるのではなく、今後も引き続き紹介していくことが必要と考えた事から、各機関の事業所紹介について、啓発部会や地域課題検討部会で得た情報も踏まえ、福祉サービスを紹介する様々なサイトや冊子等を紹介する媒体作りを行うこととし、資源の情報を集めた。</p> <p>次年度作成に向け、次年度以降は情報発信グループとして作成を行っていく予定。</p> <p>当事者との意見交換会については、次年度に向けての実施を計画している。これまでは</p>

年に1回程度の計画開催だった意見交換会だが、大人数での会を単発で開催するのではなく、少人数での小さな会でも3ヵ月おき程度で定期的で開催する方向で、次年度検討。

【振り返り】

- ・コロナ禍の中で、もともと外出が容易ではない当事者にとっては、ZOOMによる会議が多くなったことで、様々な企画・会議に参画できる機会ができたことは幸運であった。
- ・一言で障がいと言っても多岐にわたる為、難しさがあると感じた。今後、場合によってはターゲットも絞る必要があるかもしれない。足りない部分が見えた時、そこをカバーしていけるような仕組みができると良い。
- ・当事者の意見交換会の仕組み作りが出来ると良い。異なる障がいの方々から、いつも聞かないような意見が互いに聞けるようになると良い。
- ・3年間で仕組み作りができていけると良い。今年度は土台作りができたのではないか。

以上

令和2年度 中エリア連絡会 「啓発部会」活動報告

<p>実施内容 (日時・会場)</p>	<p>【活動日程】 令和2年6月17日(水)16:00～中区役所社会福祉課 コアメンバー打ち合わせ 令和2年7月10日(金)15:00～中区役所本館32会議室 第1回啓発部会 令和2年9月25日(金)15:00～中区役所本館33・34会議室 第2回啓発部会 令和2年10月23日(金)15:00～中区役所本館32会議室 第3回啓発部会 令和2年11月19日(木)15:00～中区役所本館33・34会議室 第4回啓発部会 令和2年11月25日(水)16:00～中区役所社会福祉課 コアメンバー下準備 令和2年11月27日(金)10:00～浜松市役所ロビー 展示物準備 令和2年12月4日(金)10:00～浜松市役所ロビー 展示物片づけ 令和2年12月18日(金)15:00～浜松市役所35・36会議室 第5回啓発部会</p>
<p>具体的実施内容 (議題等)</p>	<p>【部会テーマ】 「ともに生き、ともに支えあう、浜松市」 支え合いによって、住み慣れた地域で希望を持って安心して暮らすことができる街を目指して、障がい者への支援体制を図ることを目的に活動した。</p> <p>【活動内容】 ◎視覚障がい者の方への対応方法と居場所の展示 ◎日時：令和2年11月27日～12月4日 ◎場所：障がい者週間に合わせて市役所にてパネル展示</p> <p>啓発部会の構成員として視覚特別支援学校の先生にご参加いただいているため、視覚障害のある方への対応方法を当事者目線で紹介することができた。居場所については、子ども食堂や子育て支援広場、子育てサークル、認知症カフェ、手話サークル、ナイトサロン、外国人の方の居場所など、計13か所の社会資源を紹介した。</p> <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しく入った構成員の方もいるため、協議会や連絡会、今までの部会活動についても報告をしてもらうことで何を目的に活動しているのかを理解し参加できると思う。 ・完成したパネルは良いものができた。小さなブースではあったが、イラストや地図、台紙に色模造紙を使用したことで目を惹くものになった。 ・展示パネルが通りの裏であったため、掲示したチラシはあまり持っていった様子が見えなかった。展示場所が工夫できると良かったか。 ・展示期間が短かった。 ・自己啓発にもなった。各構成員が事業所に持ち帰り周知していくことが啓発にもなると思った。 <p>【次年度に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの中でつながりができた資源を、チラシも含めて今後エリア(他部会)でも活

かしていけるとよいのではないか。

- ・啓発活動もテーマを決めてシリーズ化していくことで啓発に繋がると思う。
- ・次年度はスマイルフェスタ参加を軸に活動していく。

以上

令和2年度 中エリア連絡会 「 ネットワーク会議 」活動報告

<p>実施内容 (日時・会場)</p>	<p>日時 令和3年2月17日(水) 13:30~15:30 会場 オンライン (Zoom) にて開催 参加機関 31機関</p>
<p>具体的実施内容 (議題等)</p>	<p>○目的 中エリア連絡会の活動状況のご報告、および活動の中から見えた課題に対する取り組みや社会資源の共有、加えて、エリア内の関係機関の皆様と意見交換できる</p> <p>○内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 浜松市障がい者自立支援協議会 中エリア連絡会について <ul style="list-style-type: none"> ・全体概要 ・各部会活動報告等 2 浜松市中障がい者相談支援センター 活動報告 3 「外国人の支援について」 <p style="margin-left: 2em;">講師：公益財団法人 浜松国際交流協会 (HICE) 事務局次長 松岡真理恵様 障害者自立支援事業所「フトゥーロ」 施設長 杉山尚也様 質疑応答、意見交換</p> <p>○参加者からの声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の外国人の支援はとても参考になりました。日本人とは違う文化がある。当たり前なことだけど、日本の価値観で見ていたな・・・と反省しました。 ・地域課題として、挙げられたものの中から研修を行えると動機づけも含め意欲的にとりくめるように思いました。 ・子どもの支援について(ライフステージに沿った支援、不登校、虐待防止、学校や事業所間、関係団体等との連携・ネットワーク作り)についてなど、テーマにあげてほしい。 ・強度行動障害の現れの見られる利用者支援、または支援者間のネットワーク作り(地域課題として考え事業所間のネットワーク作りや強行研修参加者等の実践報告・振り返り等)、防災・災害対策、感染症防止、制度理解(行政説明)等テーマにあげてほしい。 など <p>○次年度へ向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、日々のケースワークから、地域課題を集約し、地域課題検討部会での事例検討を活用する。 ・上記を通して、テーマ設定し、ネットワーク会議の中で資源共有や意見交換を行う。 <p style="text-align: right;">以上</p>